



1 法人内には作業療法士(OT)や理学療法士(PT)などの有資格者が常駐。個別プログラムに応じたサポートで機能維持を図る 2 特定相談支援事業所では制度の狭間で支援を受けられない人達にも目を向け、関係機関や地域住民等との連携を図っている 3 屋外で仕事をする利用者さんに「水分はしっかりとれていますか?」と声をかける管理栄養士。健康状態や生活習慣に合わせて、食事や栄養摂取の細やかな目標設定、食生活の改善指導を行う 4 提携病院の医師が定期的に往診し健康管理や治療を行っているが、眼科や皮膚科には看護師付き添いのもとスロープ付きの福祉車両で通院 5 けやきの村相談支援センターではチームとして心身共に健康であることが地域の方への質の高い支援につながるため、毎朝欠かさずラジオ体操を実施している

## TOP MESSAGE

会社の魅力や求める人材など  
皆さんへのメッセージ

### 地域の中で「誰かのために」 「自分のために」働く仕事

私たちの経営理念は「あなたとともに そして あなたののために」です。あなたとは、子どもから高齢者、障がいのある方、社会的に弱い立場の方、その家族、地域の方を意味します。また、働く人たちを取り巻く社会、環境、背景すべてを含みます。

地域のつながりが希薄になっている現在、私たちは自ら地域に出て、地域の様々なニーズをとらえようとしています。福祉の仕事に向いているのは、人とのコミュニケーションを大切にしながら信頼関係を築ける人です。福祉系の国家資格保持者はもとより、入職後に資格取得を目指す人も歓迎します。



理事長 舟山 信悟

### 地域の要望に応えて半世紀 総合的な福祉サービスを展開

『けやきの村』の原点は、障がいのある子を持つ家族の「親が亡くなった後も心穏やかに安心して生活できる場所が欲しい」という切実な願い。1972年に定員30人の重度身体障害者授産施設として開所後、地域の要望を受けて入所施設の規模を拡大。介護保険以前から高齢者向けのサービスも始めている。

現在は『けやきの村』『青松苑』『静心園』で障がい者の生活介護や就労支援、『特定相談支援事業所』において相談業務を行うと共に、高齢者向けの『けやきの村相談支援センター』を拠点に総合的な福祉サービスを提供している。相談支援センターには居宅介護支援事業所、地域包括支援センター、ヘルパーステーションがあり、法人として高齢・障がいの枠を超えて一元的に相談に応じることが出来るのが特徴。高齢者・障がい者にも「人生の伴走者」となれるように最適なサービスを届けている。

# 社会福祉法人 けやきの村

障害福祉サービス、介護保険サービス



採用情報・  
各種申し込み・  
問い合わせは  
こちらから



地域福祉を支える一人ひとりの成長を  
法人が強力にサポート

一人ひとりの生涯に寄り添い、幸せな人生をサポートするのが福祉の仕事。『けやきの村』は職員の成長も応援する



伊東さんの1日

職業指導員のある日のお仕事を紹介

障がいや病気で一般就労が困難な利用者さんに就労の機会や訓練の場を提供しています。

- 8:30 出社
- 9:50 野菜加工・ヘルメット内装組立など
- 10:15 就労支援課 打ち合わせ
- 10:20 作業室作業
- 13:10 アパート清掃など施設外就労
- 15:30 帰り送迎
- 16:40 日誌作成
- 17:00 翌日の部材補充
- 17:30 退社



伊東汰晟さん  
Profile  
入職/2023年  
配属/けやきの村  
職業指導員

や日常生活上の支援、コミュニケーションも業務に含まれる。「障がいの有無に関わらず一人の人として利用者さんを尊重しているので、できることはなるべく自分でやってもらって、できないところをお手伝いさせてもらうようにしています」と齋藤さん。「どんなにロボットが進化しても人間にしかできない介助があると思う」と話し、気配り目配りを欠かさずに利用者さんと向き合う。「自分自身も就職するまで福祉施設がどんなところか知らなかったけれど、

利用者さんとのやりとりは本当に楽しい。就職を検討しているという人は、ぜひ一度見学してみてほしいと思う」。

新しい技術や知識が得られる次の研修が楽しみ

来年は介護福祉士実務者研修を受け介護福祉士を目指す。先に実務者研修を受けた先輩職員から「日常業務の振り返りだけでなく新しい技術や知識が得られる」と聞いた齋藤さんは、その日を楽しみにしているそうだ。

齋藤さんの1日

生活支援員のある日のお仕事を紹介

利用者さんの個別支援計画に基づき食事や入浴、排泄など日常生活上の支援を行います。

- 8:30 出社 引き継ぎまで朝食や洗面・歯磨きの介助
- 9:00 巡回(おむつ・パット交換)
- 10:00 水分介助(お茶の提供)
- 10:30 昼食介助
- 12:50 昼食休憩
- 13:30 巡回しながら利用者さんとコミュニケーション
- 15:00 水分介助(お茶とおやつ提供)
- 15:30 巡回と夕食の準備
- 17:00 夕食介助と就床介助
- 17:30 退社



齋藤拓実さん  
Profile  
入職/2021年  
配属/静心園  
生活支援員



10 齋藤さんは利用者さんにも常に敬語。行事などでは笑い合いながら一緒に楽しむが「仲良くなると友達のような言葉づかいになりがちなので気をつけている」という

11 最初は「続けられるのかどうか」迷いがあったが、先輩の仕事ぶりを見て「自分もがんばってみよう」と思うように。職場の人に助けられて成長を実感する毎日

実習にきた『けやきの村』に就職を決めた理由

職員数は法人全体で180人以上。介護福祉士や社会福祉士、精神保健福祉士、理学療法士、作業療法士、管理栄養士といった専門職が各職場で活躍中だ。障がいがあり一般就労が難しい方たちの就労支援をするのが職業指導員で、働くために必要な知識や技術を身につけるための職業訓練の指導や、自立した就業にむけたサポートを行う。職業指導員に必要な資格はないが、働きながら社会福祉士などの資格を取得するケースが多い。『けやきの村』で職業指導員として働く伊東汰晟さんは、大学時代の実習で訪れた『けやきの村』の明るい雰囲気や相性の良さを感じて就職を決めた。「実習初日から職員さんや利用者さんが気軽に声をかけてくれて、ここで働きたい」と思いました」と伊東さん。現在は、野菜加工、ヘルメット内装組立、アパート清掃などの業務を請負う利用者さんが作業しやすいように声をかけ、環境を整えている。

伊東さんがやりがいを感じるのは「目標が達成できて利用者さんと一緒に喜び合える時」。例えば、ヘルメット組立は1日3,000個が目標。どんなに忙しい時でも伊東さんが心がけているのは「利用者さんの話を最後まで聞くこと」と言う。理解しようとする姿勢が伝わると、安心して仕事に励んでもらえると最近実感するようになった。「仕事をしながら見えてくることが多い。いずれは社会福祉士の資格を取りたいと思う」と話していた。

一人の人として尊重し、利用者さんと楽しい時間を

『静心園』で生活支援員として働いている齋藤拓実さんは、転職して4年目。以前は運送業で働いていた。「体育大学出身で体力には自信があったことと、ハンドボールの社会人チームを続けられる環境が決め手になってここに就職を決めた」と話す。現在の業務は、利用者さんの食事・入浴・排泄といった介助。通所の利用者さんのための送迎

どんなにロボットが進化しても人間にしかできない介助がある



6 職業指導員として働き始めて2年目の伊東さん。迷った時は「職場の頼れる先輩」にアドバイスをもらいながら前に進む 7 利用者さんが組み立てるヘルメットの部品を揃えて完成品を納品。組立作業のほか、給食などに使う野菜の加工、アパートの清掃などさまざまな仕事を受注し付き添う 8 利用者さんの気持ちを「分かったつもり」にならないで、聴く姿勢を大切にしながら信頼関係を築いていきたい」と伊東さん 9 日常生活の支援だけでなく、利用者さんとのコミュニケーションも仕事の一つ

会社情報

- 設立 1971年9月10日
- 理事長 舟山 信信
- 従業員数 185名(2025年12月現在)

- 求人対象  
高卒 専門卒 短大卒  
大卒 中途

インターンシップ  
要問い合わせ

- 採用担当者連絡先  
TEL/024-542-3275  
E-mail/ keyakinomura-t.s@piano.ocn.ne.jp

〒960-0261  
福島県福島市飯坂町中野字高田前2-7  
TEL/024-542-3275  
FAX/024-542-6978

業務内容

- 障害者支援施設けやきの村  
生活介護事業所・施設入所支援事業所・短期入所事業所・就労継続支援B型事業所・日中一時支援事業所
- 障害者支援施設青松苑  
生活介護事業所・施設入所支援事業所・特定相談支援事業所
- 障害者支援施設静心園  
生活介護事業所・施設入所支援事業所・短期入所事業所
- けやきの村相談支援センター  
居宅介護支援事業所・飯坂北地域包括支援センター・訪問介護事業所